

図書館だより 第8号



令和4年が始動しました。今年の干支は寅です。「虎、千里を走る」の言い伝えでは、人やものの勢いが非常に盛んになるとのこと、活気あふれる一年になるといいですね。図書委員会の1・2年生が企画製作した3年生への受験応援メッセージが校内に掲示されます。3年生のみなさんいよいよ受験の本番、体調には十分気を付けて頑張ってください！！

1. 3年生の図書の貸出・返却について

◆一般図書の貸出

1月12日(水) 貸出最終日

⇒ 1月28日(金) 返却期限日(登校日)

閉館時は、ブックポストに

◆進路・受験等に関する図書の貸出

引き続き貸出しますので、カウンターまで相談してください。

※返却し忘れのないようにお願いします。

2. 冬季休業中の貸出冊数無制限図書の返却について

◆返却期限日は1月12日(水)ですので早めに返却を！

1月・2月のカレンダー グレーは休館

日	月	火	水	木	金	土
						1/1 元旦
2	3	4 閉庁日	5	6	7 冬季休業日(終)	8
9	10 (成人の日)	11 始業式	12 3年生一般 図書貸出最終日 無制限貸出返却期間	13	14	15 土曜授業 午後閉館 共通テスト
16 共通テスト	17	18	19	20	21	22
23	24	25 入学者選抜準備 閉館	26 入学者選抜(採点) 閉館	27 入学者選抜(推薦) 閉館	28 3年生一般 図書返却日	29 土曜授業 午後閉館
30	31	2/1	2	3	4	5 土曜授業 午後閉館



『ぼにらさま』
山本 文緒
(文藝春秋)

パツとしない会社員広志の彼女は色白でとびきり可愛い”ぼにらさま”。辛い思いをしながらも懸命に生きる人々の日常とその向こう側に見える心のあり様を描いた6篇。

山本 文緒 の遺作



『7.5グラムの奇跡』
砥上 裕将
(講談社)

国家試験に合格し、視能訓練士の資格を得たが、就職先は決まらなかった。そんな時、面接を受けたのは、小さな眼科医院。そこで、人の良い院長や、経験豊富な視能訓練士・看護師とともに「目を守る」ために働きはじめる。新人視能訓練士の一年間の物語。

新しい本が入りました！ ※別紙一覧表をご覧ください。

＜話題の図書の中から＞



『心はどこへ消えた？』
東畑 開人
(文藝春秋)

今ほど心が軽んじられている時代はない。それはなぜなのか？

臨床心理士として人々と向き合いカウンセリングを通して、消えてしまった心を探すことについて語りかける作品。



『噴火した！火山の現場で考えたこと』
荒牧 重雄
(東京大学出版会)

噴火があれば現場に駆けつけ、「火砕流」という言葉を生みだし、数々の噴火に立ち会ってきた著者が、現場の体験をもとに火山研究と火山防災について語る。



『図解まるわかりDXのしくみ』
西村 泰洋 (翔泳社)

DX人材に必要なITとデジタル技術の知識を基礎から応用まで解説。ビジネスやサービスにおいてシステムの企画立案を行うためには、技術の理解が必要不可欠。DXを成功へ導くための教科書となる一冊。



『タリバン復権の真実』
中田 考(ベスト新書)

アフガニスタンでの活動、タリバン幹部との交流をもとに、タリバンの誕生から今日までの思想と行動を解説。タリバン復権が持つ地政学的、文明論的意味を解き明かし、世界と日本がタリバンといかに関わっていきべきかについて語った一冊。

学習支援図書コーナーから



『14歳からのプログラミング』
千葉 滋
(東京大学出版会)

中学段階の知識で、繰り返し・場合分け・配列などプログラミングの基本が身につく。JavaScriptとサポートサイトでプログラムを動かしながら学び、ビジュアルで簡単に解説した一冊。



『教科書の要約と年表で学ぶ日本史』
梶尾 靖夫
(山川出版社)

細かく見出しをつけて教科書の内容を整理した「要約文」と、時代の流れを整理できる「日本史略年表」で、日本史を学ぶ一冊。

＜リクエストされた図書の中から＞



『おのおんごう』
加賀 翔
(講談社)

岡山の田舎の小さな町で、乱暴な父親と凛とした母親、そしてふんわりしたおばあちゃんの下で過ごした少年の成長物語。無二の親友や、将来のこと、芸人についても語る。「かが屋」加賀翔、初の小説。



『さよならも言えないうちに』
川口 俊和
(サンマーク出版)

「最後」があるとわかっていたのに、なぜそれがあの日だと思えなかったんだろう。家族、愛犬、恋人に会うために過去に戻れる不思議な喫茶店を訪れた4人の男女の物語。



『N』
道尾 秀介
(集英社)

全六章からなる連作短編。読む順番は読者の判断に任せられ、720通りの話が楽しめることになるが、共通する登場人物がいるためストーリーはつながっている。また、各章毎に逆さまに印刷されており驚かされる。話の始まりは何で、結末はどのようなのかワクワクさせられる作品。

